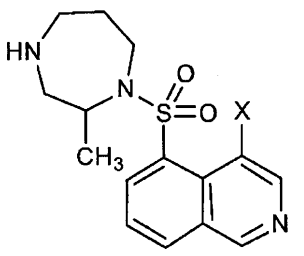
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【公開番号】特開2016-113458(P2016-113458A)
【公開日】平成28年6月23日(2016.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2016-038
【出願番号】特願2015-242800(P2015-242800)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/551　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5377　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/22　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/20　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/551
Ａ６１Ｋ　31/5377
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｐ　27/06
Ａ６１Ｋ　47/18
Ａ６１Ｋ　47/22
Ａ６１Ｋ　47/26
Ａ６１Ｋ　47/20
Ａ６１Ｋ　9/08

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月15日(2017.11.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
次の一般式（１）
【化１】



(1)

［式中、Ｘはハロゲン原子を示す。］
で表される化合物若しくはその塩又はそれらの溶媒和物、及びチモロール又はその塩を含有する水性組成物。
【請求項２】
一般式（１）で表される化合物が、リパスジルである請求項１記載の水性組成物。
【請求項３】
一般式（１）で表される化合物若しくはその塩又はそれらの溶媒和物が、リパスジル塩酸塩水和物（リパスジル１塩酸塩２水和物）である請求項１記載の水性組成物。
【請求項４】
チモロール又はその塩が、チモロール又はチモロールマレイン酸塩である請求項１～３のいずれか１項記載の水性組成物。
【請求項５】
さらにアミノ化合物を含有するものである請求項１～４のいずれか１項記載の水性組成物。
【請求項６】
一般式（１）で表される化合物を、該化合物のフリー体に換算して０．０１～１０ｗ／ｖ％含有するものである請求項１～５のいずれか１項記載の水性組成物。
【請求項７】
チモロール又はその塩を、チモロールのフリー体に換算して０．０１～５ｗ／ｖ％含有するものである請求項１～６のいずれか１項記載の水性組成物。